

社会教育関係各課・館・所の令和7年度の取組について

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		小中学校キャリア教育推進事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		学校教育課			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
			3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
	法令・例規等								
事業目的		対象	小中学校児童生徒及び保護者、小中学校教職員、地域、事業所						
		意図	ふるさと飯田とのつながりを知り、誇りや愛着を持つとともに、ふるさと飯田に軸足を置きつつグローバルな視点・素養を持つ人材を育成する。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	リニア中央新幹線や三遠南信自動車道開通後のグローバル社会を見据え、地域の歴史や文化への深い理解とアイデンティティを大切にしつつ、予測不能な社会を生き抜くために必要な力や広い視野を有する人材の育成が求められています。地育力を活用した環境学習、ふるさと学習、体験学習、職場・福祉体験等を、園・小・中・高が一貫した理念で推進し、子供たちの多様な自己実現の可能性を拡げる飯田型キャリア教育の充実が重要です。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ふるさとを愛し、ふるさとの未来と自分の夢を主体的に創造していける子供を育成する飯田のキャリア教育を「飯田学園構想」の中で特設教科を軸として推進します。 ・職場体験、福祉体験、地育力を活用したふるさと学習など、各校が実施するキャリア教育活動を支援します。 ・中学生を対象に次代を担う人材を育成する「結いジュニアリーダー育成事業」を実施します。 ・飯田東中学校りんご並木後援会等と連携し、飯田東中学校のりんご並木における学習活動を支援します。また、りんご並木の今後の管理方法や中学校を支える仕組みについて検討します。 ・三遠南信地域の中学生が相互に学ぶ学習交流活動を、浜松市と豊橋市との連携のもと実施します。		キャリア教育学校交付金				2,500				
			キャリア教育研究委員会講師謝礼				45				
			キャリア教育バス・タクシー借上代				50				
			中学生の福祉・職場体験学習への支援				336				
			結いジュニアリーダー育成講座事業				52				
			りんご並木育成活動事業費				1,429				
			三遠南信中学生交流会事業費				854				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	小中一貫教育によるキャリア教育実施校数		校	28							
	職場体験を受け入れる事業所数		所	280							
	りんご並木アドバイザー委嘱人数		人	3							
	三遠南信中学生交流会参加者		人	34							
	学園地域コーディネーター配置人数		人	9							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		5,266	(そ) ふるさと寄附金							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		2,900								
	一般財源		2,366								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額	現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	17	1	2,983 0		キャリア教育推進事業費
2	1	10	3	2	15	2	1,429 0		りんご並木育成活動事業費
3	1	10	3	2	15	3	854 0		三遠南信中学生交流事業費
4									
5									
6									
7									

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		地育力向上連携推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始	R2	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
			3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		飯田市キャリア教育推進協議会設置要綱					
事業目的		対象	幼児期から高等教育期までの者、一般					
		意図	地域に誇りや愛着を持つとともに、ふるさと飯田に軸足を置きつつグローバルな視点で地域に貢献できる人材になる。地育力を活用したプログラムを展開する。					

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・幼児期から高等教育期まで一貫した地域人育成を確立するために、全体をつなぐコーディネート機能を充実させる必要があります。その上で、園小連携、小中連携・一貫教育、中学校と高等学校との連携を進め、地域人材確保に向け地元企業との連携も進めていく取組が必要です。
リスク及び機会(ISO)	・伊那谷の自然と文化を支えていく人材確保に向けた取組を進めていく必要があります。
	・教育委員会の情報を直接保護者に届け、教育に関する理解を深めていく必要があります。

7年度取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・キャリア教育推進協議会や、市内横断的な連携会議を開催し、こどもや若者の生きる力を育むことや、未来の地域の担い手となる人づくりの大切さを共有して、地育力を活用したキャリア教育に取り組みます。また、関係機関・団体等が連携してキャリア教育推進フォーラムを開催します。 ・市内高等学校が求める探究学習の相談窓口の一元化による高校の学びを支援します。また、高校生を対象とした意識調査を実施し、今後の展開に活かします。 ・伊那谷の自然と文化を支える人材育成を行います。 ・小中学生の保護者を対象とした情報誌H a g uを発行します。		キャリア教育推進コーディネーター人件費		4,306
			地域人材育成のためのフォーラム等開催経費		171
			伊那谷の自然と文化を支える人材育成		163
			教育委員会情報誌H a g uの発行		288
			その他の経費		0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	地域人育成に関わる会議等の開催数	回	14							
	高校生を対象とした意識調査回数	回	1							
	教育委員会情報誌の発行回数	回	3							
	伊那谷の自然と文化人材育成講座参加者数	人	25							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項			
	事業費 計		4,928	(そ) ふるさと寄附金			
	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		600				
	一般財源		4,328				

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額	現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	1	3	4,306	0	会計年度任用職員人件費
2	1	10	5	1	14	1	622	0	地育力向上連携推進事業費
3									
4									
5									
6									
7									

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		平和学習・人権教育推進事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
	法令・例規等		非核平和都市宣言						
			人権尊重都市宣言						
		飯田市差別の撤廃と人権の尊重に関する条例							
事業目的		対象	小中学生、高校生及び一般						
		意図	内外の戦争の惨禍の真実から平和について考え次世代に平和の大切さを語り継ぐ。人権尊重意識の高揚と多様性を認め合う社会を築こうとする心を育む。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)リスク及び機会(ISO)	・戦争の歴史を風化させることなく、その悲惨さや平和の大切さを次世代に語り継いでいくため、学校教育及び社会教育の両面で平和教育を進めるとともに、飯田市平和祈念館の展示及び活用について幅広い市民の意見を聞きながら進めていく必要があります。 ・偏見や差別をはじめ、女性、外国籍、同和、性的思考など、多様化する人権課題を把握し、学習活動として取り組んでいく必要があります。
------------------------------------	---

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会を開催し、幅広い市民の意見をお聞きし、より良い祈念館となるように検討します。 ・飯田市平和祈念館の案内と収集した資料の整理を行います。 ・飯田市平和祈念館や満蒙開拓平和記念館を活用した、市内小中学校の平和学習の支援と、高校生・若者を対象とした平和・多文化学習講座を行います。 ・満蒙開拓平和記念館自治体パートナー制度へ加入し運営を支援します。 ・各地区や公民館等において、関係団体と連携した人権尊重に関する講座や講演会を開催します。		平和祈念館の案内及び活用のための人件費				2,760				
			平和祈念館展示・活用検討委員会開催経費				308				
			平和祈念館の案内、活用、資料整理ほか				866				
			小中学校での平和学習支援				1,607				
			高校生若者対象の平和・人権・多文化学習支援				265				
			公民館等での人権学習支援				138				
			満蒙開拓平和記念館自治体パートナー制度協力金				250				
その他の経費				0							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	満蒙記念館を活用した平和学習実施校数		校	10							
	市平和祈念館を活用した平和学習実施校数		校	3							
	市平和祈念館で案内を行った回数		回	50							
	人権学習講座数		回	130							
	教職員研修の実施回数		回	2							
	高校生若者対象平和・人権・多文化学習講座参加者数		人	70							
	飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会の開催数		回	3							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		6,194	(県)人権教育促進事業補助金(1／2)							
	国庫支出金		0								
	県支出金		75								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		6,119								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	1	3	2,760 0	会計年度任用職員人件費
2	1	10	5	1	10	5	138 0	人権教育推進事業費
3	1	10	5	1	10	6	3,296 0	平和学習推進事業費
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		市民スポーツ推進事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市スポーツ推進計画						
	法令・例規等		スポーツ基本法						
			飯田市スポーツ推進委員設置規則						
		飯田市スポーツ推進審議会条例							
事業目的		対象	市民						
		意図	様々なスポーツ機会の提供により、日常生活への運動習慣の定着とスポーツを通じたコミュニティの形成をめざす。運動好きのこどもを育むことで、生涯スポーツの基礎を築く。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・こどもの運動習慣の二極化の課題に対し、運動好きのこどもを育むことが生涯スポーツに親しむ人材の育成につながることから、幼少期のスポーツによる健康・体力の向上を目指す取組を進めます。 ・成人の日常的なスポーツ習慣の定着を目指すとともに、スポーツ活動や大会を支えるための指導者やボランティア等のスポーツ人材の発掘・育成が課題です。 ・障がい者や高齢者も含め、全ての人が継続的に楽しめるスポーツの推進が必要です。
リスク及び機会(ISO)	

7年度取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・飯田市スポーツ推進計画に基づき、市民のスポーツ活動を支援します。 ・スポーツ推進委員と連携して、日常的なウォーキングや多世代が交流できるニュースポーツの普及に取り組み、市民の運動習慣の定着をめざします。 ・飯田やまびこマーチや風越山トレイルマラソン大会を開催し、多くの市民に参加いただくとともに、県内外へ飯田市を広くPRしていきます。 ・こどもの体力・運動能力向上のため、園児や親子を対象としたコーディネーショントレーニング教室を実施するとともに、幼少期の体幹トレーニング等の指導者研修会を実施します。		スポーツ推進審議会		77
			スポーツ推進委員活動		2,643
			飯田やまびこマーチ開催		2,370
			風越山トレイルマラソン大会開催		1,500
			幼少期の運動能力向上事業		288
			市民スポーツ推進事業		431
			その他の経費		0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	スポーツ推進委員の活動回数(全市会議、研修・講習会指導)	回	100							
	スポーツ推進審議会開催回数	回	2							
	飯田やまびこマーチの参加者数	人	1,500							
	風越山トレイルマラソン大会の参加者数	人	500							
	コーディネーショントレーニング・指導者研修会等開催回数	回	24							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		7,309	(県) 地域発元気づくり支援金(3/4)						
	国庫支出金		0							
	県支出金		1,125							
	地方債		0							
	その他		0							
	一般財源		6,184							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	11	5	3,439 0	生涯スポーツ推進事業費
2	1	10	6	1	11	6	2,370 0	やまびこマーチ開催事業費
3	1	10	6	1	11	8	1,500 0	風越山トレイルマラソン大会開催事業費
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		競技スポーツ振興支援事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市スポーツ推進計画					
	法令・例規等		スポーツ基本法					
事業目的		対象	市民					
		意図	競技スポーツ団体の活動や指導者育成を支援し、生涯にわたって継続的に競技スポーツに親しむ人口を増やす。全国的に活躍する選手を応援し、競技スポーツへの関心を高める。					

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)リスク及び機会(ISO)	・人口減少にともない、競技人口も減少傾向にあります。市民の競技スポーツへの関心を拡大し、生涯にわたって各競技スポーツに親しむ競技者やサポーターを増やすことで、結果として全国的・国際的に活躍する選手の育成につなげます。 ・競技スポーツの楽しさを伝え、選手の成長やニーズに応じた適切な指導力を有する人材の育成が求められることから、飯田市スポーツ協会の活動を支援し、連携して取り組んでいく必要があります。
------------------------------------	--

7年度取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・競技人口の拡大や競技力向上に取り組む飯田市スポーツ協会の運営や各競技団体の活動、指導者育成を支援します。 ・スポーツ協会や民間スポーツクラブ等とも連携してスポーツ教室の開催、ゲーム観戦など一流のプレーに触れ交流できる機会を提供します。 ・中央道沿線都市親善スポーツ大会の開催や県縦断駅伝競走大会、市町村対抗駅伝競走大会等への参加を通じて、市民の競技スポーツへの関心を高めます。 ・全国大会に出場する地元選手や団体等に対し、激励金等によりその活躍を応援し、WEBサイト等で広く市民に発信します。		飯田市スポーツ協会運営支援		7,500
			中央道沿線都市親善スポーツ大会		200
			市町村対抗駅伝競走大会		105
			長野県縦断駅伝競走大会		80
			競技スポーツ振興事業		504
			その他の経費		0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	指導者養成講座・実践機会の実施回数	回	3							
	飯田市スポーツ協会関係事業への参加者数	人	115,000							
	スポーツ大会等の開催数	大会	14							
	飯田市スポーツ協会加盟団体	団体	22							
	HP等による情報発信の回数	回	12							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		8,389		
	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		0		
	その他		0		
	一般財源		8,389		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	11	1	889 0	スポーツ事業費
2	1	10	6	1	11	7	7,500 0	飯田市スポーツ協会運営支援事業費
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		文化・スポーツ活動の体制整備事業		会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		生涯学習・スポーツ課		開始	R5	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画	○	3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる			
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画			
				飯田市スポーツ推進計画			
				学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた推進計画			
	法令・例規等			社会教育法			
				スポーツ基本法			
事業目的		対象	小中学生、保護者、学校、文化芸術・スポーツ活動団体				
		意図	小中学生が、地域の中で主体的に文化芸術・スポーツ活動ができる環境を、学校・保護者・地域が一体となって整備する。				

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた推進計画に基づき、令和8年度末までに休日の移行を目指した取組を進めるとともに、持続可能な地域クラブ運営の体制づくりに向けた支援が必要です。 ・指導者の育成、会場確保、参加費や送迎等の保護者負担は、引き続きの課題であるため、平日の移行とあわせて、連携協議会等での検討を進めていきます。
リスク及び機会(ISO)	・学校、保護者、地域の理解を得ながら進めていく必要があります。

7年度取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・部活動の地域クラブ活動への移行に向けて支援コーディネーターを配置するとともに関係団体による連携協議会を開催します。 ・部活動指導員や地域指導者の質の向上を図るための研修会を開催します。 ・教育委員会が公認する地域クラブへの活動支援を通じて、持続可能な運営体制の構築をめざします。 ・児童生徒や保護者の理解を深めるために、移行段階における取組やスケジュールなどの情報発信を行います。 ・地域での多様な活動の場としてのスポーツスクールや文化講座を開催します。 ・スクールや講座、地域クラブに参加する生活困窮家庭の生徒に対し、参加費用の一部を補助します。		コーディネーター人件費	6,650
			連携協議会等体制整備の経費	610
			指導者育成研修会・意識啓発等	750
			公認地域クラブ活動支援補助金	2,000
			体験型スポーツスクール・文化講座等の開催	1,210
			生活困窮家庭へのクラブ参加費助成	1,200
			その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	連携協議会等の開催数	回	3							
	指導者研修会の開催数	回	5							
	文化講座等の講座数	講座	30							
	スポーツスクール等の講座数	講座	35							
	保護者や地域への説明・懇談会の開催数	回	69							
	公認地域クラブ数	団体	20							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		12,420	(県) 部活動の地域移行等に向けた実証事業委託金 (10/10)						
	国庫支出金		0	(そ) 文化講座参加者保険料						
	県支出金		7,738							
	地方債		0							
	その他		25							
		一般財源	4,657							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	1	3	6,650 0	会計年度任用職員人件費
2	1	10	6	1	11	12	5,770 0	文化・スポーツ活動体制整備事業費
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		2028国民スポーツ大会開催準備事業			会計	一般会計			
					事業区分	経常	実施区分	新規	
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始	R7	終了	R10	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
		○	飯田市スポーツ推進計画						
	法令・例規等		スポーツ基本法						
事業目的		対象	飯田市民						
		意図	2028年に開催する国民スポーツ大会の開催運営の準備を進め、市民の競技スポーツへの関心を高める。						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・2028国民スポーツ大会の際に、本市で開催を予定している弓道競技と高等学校野球（軟式）競技の開催に向けて、県や各競技団体との協議を行い、準備を進めていく必要があります。 ・本大会を契機として捉え、市民の競技スポーツへの関心を高めるとともに、この地域のスポーツ振興へつなげていくことが求められています。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・大会開催に向けて、県や競技団体との協議を進めるとともに、今後の準備の参考とするために、先催県への視察を実施します。 ・準備委員会を立ち上げ、今後の大会運営等について検討していきます。 ・市民の競技スポーツへの関心を高め、機運を醸成するために、広報活動に努めます。		準備委員会等の開催				51				
			会議出席、先催県視察旅費等				310				
			意識啓発のための広報活動等				60				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	準備委員会等の開催		回	2							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		421								
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		421								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	11	13	421 0	2028国民スポーツ大会運営事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		体育施設等維持管理・整備事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		生涯学習・スポーツ課			開始	S47	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市スポーツ推進計画						
			飯田市教育委員会施設等総合管理計画						
	法令・例規等		長野県都市公園条例						
			飯田市体育施設条例及び体育施設条例施行規則ほか						
事業目的		対象	社会体育施設（施設数：44）学校開放施設（施設数：56）						
		意図	利用者が安全で良好な施設環境のなかで利用できるよう、施設整備と利便性を考慮した維持管理運営を図ります。						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)		・施設の老朽化が進む中、緊急性や安全性を考慮した施設整備が求められています。教育委員会施設等総合管理計画に基づき、誰もが安全にスポーツに親しめる利用環境の整備と応急避難施設としての役割を踏まえ、計画的に施設整備を実施し、利用者の安全と利便性を考えた施設の維持管理運営が必要です。									
リスク及び機会(ISO)											
7年度 取組	取組内容				経費の内容				事業費(千円)		
	・体育施設を安全で良好な利用環境となるよう維持管理に努め、施設等総合管理計画に基づき施設の改修を進めます。 ・予防保全：運動公園プールろ過機更新・スライダー補修 ・環境改善：鼎体育館他3施設、座光寺小学校他1施設のトイレ改修、鼎体育館他1施設の照明LED化整備 ・屋外運動場の夜間照明LED化整備を進めます。（桐林運動場、松尾小学校他6施設） ・公共施設予約システムによる申請後の許可証発行等の事務手続きの電子化を進めます。 ・民間の持つ専門性やノウハウを活用し、利用者の利便性や安全性・サービスの向上、管理運営の効率化を図るため、指定管理による運用を行います。				体育施設の受付、管理のための人件費				55,635		
					予防保全のための施設改修				74,000		
					環境改善のための施設改修				206,000		
					屋外運動場の夜間照明LED化整備				260,000		
					公共予約システムの管理運用経費				2,249		
					指定管理料				45,280		
					社会体育施設の維持管理経費				102,393		
					社会体育学校開放施設の維持管理経費				17,109		
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	社会体育施設年間利用者数		人	430,000							
	学校開放体育施設年間利用者数		人	340,000							
	勤労青少年ホーム年間利用者数		人	3,000							
	予防保全のための施設改修		件	2							
	環境改善のための施設改修		件	16							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		762,666	（国）学校施設環境改善交付金2,734千円、（国）地域脱炭素移行・再エネ推進交付金153,333千円、（県）飯田運動公園管理委託金、（地）公共施設等適正管理推進（充当率90％）66,600千円、（地）緊急防災・減災（充当率100％）166,000千円、（地）脱炭素化推進（充当率90％）63,000千円、（地）一般補助施設等（充当率90％）57,500千円、（そ）広域的体育施設使用料6,223千円、（そ）地区体育施設使用料577千円、（そ）飯田運動公園使用料3,200千円、（そ）社会体育学校開放施設使用料70千円、（そ）電話使用料他雑入3,221千円							
	国庫支出金		156,067								
	県支出金		16,274								
	地方債		353,100								
	その他		13,291								
	一般財源		223,934								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	2	1	3	55,635 0	会計年度任用職員人件費
2	1	10	6	2	10	1	139,983 0	体育施設管理費
3	1	10	6	2	11	3	269,939 0	体育施設改修費
4	1	10	6	3	10	1	14,609 0	社会体育学校開放管理費
5	1	10	6	3	11	2	282,500 0	社会体育学校開放施設整備費
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		文化財保護事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		文化財保護活用課			開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			名勝天龍峡保存管理計画					
			考古博物館活用基本方針					
	法令・例規等		文化財保護法、長野県文化財保護条例					
			飯田市文化財保護条例・同施行規則、飯田市文化財保護事業補助金交付要綱、文化財関連施設の設置条例・規則					
			飯田市美術博物館条例・同施行規則					
事業目的	対象	地域資源（自然・文化・歴史）、指定文化財（遠山の霜月祭・名勝天龍峡等）、文化財関連施設						
	意図	地域を特徴づける自然・歴史・文化資源を文化財に指定し、良好な状況で保ち後世に伝えるとともに、活用することで、地域づくり・人づくりにつなげます。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・所有者、地域主体による文化財の保存修復、伝承、及び後継者育成に対する支援の継続が必要です。 ・地域資産の価値を明確化するための調査を実施し、地域に埋もれた文化資産の顕在化に努める必要があります。 ・旧飯田測候所の指定管理化に伴い、施設管理の面において事業者や地域との更なる連携強化が求められます。 ・教育普及活動の充実のため、より参加しやすいワークショップや出前講座等の検討が必要です。
リスク及び機会(ISO)	・考古博物館の認知度向上に向け、展示手法や展示内容の検討及び効果的なPRが必要です。

7年度取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・当館所蔵の重要考古資料（溝口の塚古墳出土品・宮垣外遺跡出土品他）の重文指定を目指し、準備や段階的調査に着手します。 ・名勝天龍峡活用促進に向けた取組の一環として、案内媒体を更新します。		文化財資産化事業経費		169
			名勝天龍峡活用事業経費		381
			旧小笠原家書院・小笠原資料館指定管理料		3,286
	・所有者、地域主体による文化財保護活用事業及び保存継承に向けた取組を支援します。 ・文化財関連施設の維持管理について、地域や指定管理団体との連携を密にし、必要な支援及び指導に努めます。		北田遺跡公園指定管理料		370
			旧飯田測候所指定管理料		3,558
			指定文化財・文化財関連施設等管理運営経費		12,148
	・考古博における展示解説機能の充実化及びあらゆる世代向けのPRに対応するため、多様な情報媒体の活用を推進します。 ・指定等文化財及び関連イベントに関する情報発信効果の検証を進め、より効果的な広報に努めます。		所有者等が行う保護事業及び後継者育成に対する補助金		1,110
			考古博物館管理運営経費		10,628
			会計年度任用職員		3,312
			その他の経費		0

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	指定等文化財の数	件	192							
	名勝天龍峡に関わる学習会等の開催数	回	5							
	指定文化財の学習会等の開催数	回	2							
	指定文化財や文化財施設等の情報発信数	回	85							
	遠山の霜月祭に関する学習会や支援回数	回	5							
	地域における文化財や関連施設の活用数	回	38							
	旧小笠原家書院・小笠原資料館入館者数	人	2,000							
	北田遺跡公園を活用した地域イベントへの参加人数	人	1,100							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		34,962	(そ)文化財保護活用課雑入 150千円 (そ)財産収入 17千円	
	国庫支出金		0	(そ)ふるさと基金 1,000千円 (そ)考古博物館観覧料 277千円	
	県支出金		0	(そ)考古博物館図録等売却代 100千円 (そ)考古博物館施設使用料 10千円	
	地方債		0	(そ)考古博物館講座受講者負担金 100千円	
	その他		20,356	(そ)コピーサービス 1千円 (そ)考古博物館雑入 1千円	
	一般財源		14,606	(そ)ふるさと寄付金18,700千円	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	10	1	19,912 0	文化財管理事業費
2	1	10	5	3	10	3	1,110 0	文化財保護事業補助金
3	1	10	5	6	12	1	10,628 0	考古博物館管理運営事業費
4	1	10	5	3	1	3	3,312 0	会計年度任用職員人件費
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		埋蔵文化財調査事業			会計	一般会計			
					事業区分	経常	実施区分	継続	
担当課等名		文化財保護活用課			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
			考古博物館活用基本方針						
	法令・例規等		文化財保護法						
		飯田市埋蔵文化財事前調査取扱要綱							
事業目的		対象	埋蔵文化財包蔵地						
		意図	国・県・市・個人及び民間事業者の土木工事等において、適切な保護措置を講じます。						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・文化財保護法に基づく届出による埋蔵文化財発掘調査を実施し、調査成果を記録保存するとともに、調査の必要性を事業者向け説明会で周知しました。引き続き必要な発掘調査を実施し、調査成果の記録保存に努めます。 ・リニア整備、関連事業の進捗により、埋蔵文化財の調査等が増加しています。事業者、関係機関との連携を密にして、保護措置に漏れが生じないよう適切に対応します。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・埋蔵文化財包蔵地の取り扱いを、公式We b サイトや事業者向け説明会で周知し、文化財保護法及び必要な届出等について注意喚起します。		個人住宅建設・民間開発に係る調査経費		9,509
	・個人住宅の建設、民間開発に伴う発掘調査の実施、調査成果を整理して記録保存します(市内遺跡)。		県事業に係る調査経費		0
	・公共事業に伴う発掘調査の実施、調査成果を整理して記録保存します(的場遺跡等)。		市事業に係る調査経費		2,598
	・リニア整備、関連事業に係る用地、道路新設・拡幅等の試掘・確認調査・発掘調査を実施し、確実な保護措置を講じます(ママ下遺跡)。		会計年度任用職員人件費		17,029
			その他の経費		0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	埋蔵文化財包蔵地の相談・照会件数	件	340							
	文化財保護法に基づく届出等件数	件	280							
	保護措置(立会調査)実施件数	件	200							
	記録保存された埋蔵文化財包蔵地	件	10							
	発掘調査報告書の累計数	件	320							
	保護措置が円滑に行われなかった数	件	0							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項					
	事業費 計		29,136	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2)					
	国庫支出金		2,525	(そ) 埋蔵文化財調査受託事業収入					
	県支出金		0						
	地方債		0						
	その他		10,800						
一般財源			15,811						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	11	1	3,857 0	埋蔵文化財調査事業費(補助)
2	1	10	5	3	12	1	5,273 0	埋蔵文化財調査事業費(単独)
3	1	10	5	3	13	2	0 0	埋蔵文化財調査事業費(県)
4	1	10	5	3	13	3	2,977 0	埋蔵文化財調査事業費(その他)
5	1	10	5	3	1	3	17,029 0	会計年度任用職員人件費
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		飯田古墳群保存活用事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		文化財保護活用課			開始	H20	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			史跡飯田古墳群保存活用計画						
			考古博物館活用基本方針						
	法令・例規等		文化財保護法						
			長野県文化財保護条例						
			飯田市文化財保護条例・同施行規則						
事業目的		対象	国史跡指定された古墳等、保存活用すべきとした古墳						
		意図	全国に誇れる地域資産として後世に伝えていくとともに、活用することで、地域づくり・人づくりにつなげます。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・ 史跡飯田古墳群の追加指定に向け、御猿堂古墳(竜丘)の範囲確認調査を行い、古墳の規模を把握しました。調査成果は史跡の追加指定の根拠にするともに、地区への回覧、地区文化祭で速報しました。より正確な規模の把握を目的に、引き続き御猿堂古墳での範囲確認調査を実施します。
リスク及び機会(ISO)	・ 史跡飯田古墳群の探訪ツアー、考古博物館における甲冑展示やワークショップ(鏡づくり)等を行いました。これらの活動を通じて飯田古墳群の周知を進めます。

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ 史跡飯田古墳群御猿堂古墳(竜丘)の規模を把握する範囲確認調査を実施します。 ・ 出土遺物の価値を高めるため、茶柄山古墳出土鉄製品の保存処理を行います。 ・ 石室の安全管理や将来的な修復整備、活用のために3D計測を実施します。 ・ 飯田古墳群の価値や魅力を知っていただくため、公式We b サイト・広報誌等、より効果的な情報発信に努めるとともに、公民館事業と連携した学習機会を作ります。		発掘調査に係る経費				924				
			会計年度任用職員				1,079				
			保存活用に関する経費				1,640				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	範囲確認調査報告書に記載する古墳の数		基	1							
	地域との連携による保護活動等の実施		回	10							
	市内外への情報発信		回	10							
	観光部局と連携した活用の取り組み		回	2							
	学習会活動支援回数		回	12							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		3,643	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 (1 / 2)							
	国庫支出金		1,000								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		2,643								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	11	3	924 0	飯田古墳群保存活用事業費
2	1	10	5	3	12	1	1,640 0	埋蔵文化財調査事業費 (単独)
3	1	10	5	3	1	3	1,079 0	会計年度任用職員人件費
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		恒川遺跡群保存活用事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		文化財保護活用課			開始	H13	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			史跡恒川官衙遺跡保存活用計画・史跡恒川官衙遺跡整備基本計画						
			考古博物館活用基本方針						
	法令・例規等		文化財保護法						
			長野県文化財保護条例						
			飯田市文化財保護条例・同施行規則						
事業目的		対象	国史跡指定地を含む恒川遺跡群						
		意図	恒川遺跡群の実態解明に向け調査・研究を進めるとともに、学習交流の拠点となる史跡公園を整備し、適切に保存活用を行うことで地域づくり・人づくりにつなげます。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・史跡恒川官衙遺跡ガイダンス施設工事・展示実施設計は、文化財保護等の専門家による専門委員会、地域関係団体による整備推進会議で検討を行い進めています。引き続きガイダンス施設整備事業を計画的に推進します。 ・地域、保存団体と連携して、史跡や史跡公園の利活用、座光寺地域の歴史・文化資源の案内人育成に取り組んでいます。今後は、ガイダンス施設の事業、運営管理等の仕組みづくりを進めます。
リスク及び機会(ISO)	

7年度取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・「史跡恒川官衙遺跡」の保存活用の拠点として、令和6年度より整備に着手しているガイダンス施設の展示に向けた整備を行います。施設では、展示を通じて史跡の歴史的な価値を分かりやすく紹介するとともに、その価値を理解し自分達で発信できる人材の育成を地域と協働して取り組みます。 ・地域と連携してガイダンス施設の事業、運営管理等の仕組みづくりを進めます。 ・正倉院エリア整備の計画について文化庁協議を始めます。 ・公園整備の基となる発掘調査報告書を、公式Webサイト等で公開するとともに、地域で調査成果を学ぶ機会を作ります。 ・開発に伴う発掘調査や整理事業を実施します。 ・史跡公園事業用地等を適切に管理します。		恒川官衙遺跡専門委員会等経費		145
			史跡公園整備費（需用費、委託料、工事費）		115,856
			史跡整備に伴う発掘調査経費		421
			開発に伴う発掘調査経費（恒川遺跡群）		1,454
			史跡公園事業用地管理経費		5,793
			会計年度任用職員		8,814
			その他の経費		0

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	整備進捗率累計（整備面積A=2.22ha）	%	20.1							
	整備・管理等における地域との協働回数	件	10							
	史跡公園事業地の発掘調査進捗率	%	100							
	情報発信回数	回	24							
	史跡・発掘調査見学者数	人	160							
	学習支援回数	回	5							
	専門委員会の開催数	回	2							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		132,483	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1／2）						
	国庫支出金		48,112	(県) 文化財保護事業補助金（3／100、上限500千円）（県随伴補助）						
	県支出金		500	(地) 一般補助施設整備等（充当率90％）41,100千円						
	地方債		55,900	(地) 脱炭素化推進（充当率90％）6,400千円						
	その他		0	(地) 地方道路等整備（充当率90％）8,400千円						
	一般財源		27,971							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	14	1	92,528 0	恒川遺跡群保存活用事業費（補助）
2	1	10	5	3	14	2	31,141 0	恒川遺跡群保存活用事業費（単独）
3	1	10	5	3	1	3	8,814 0	会計年度任用職員人件費
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		歴史研究所事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		歴史研究所			開始	H15	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市歴史研究所第6期中期計画						
	法令・例規等		飯田市歴史研究所条例						
			飯田市歴史研究所管理運営規則						
事業目的		対象	市民、研究者等						
		意図	歴史的価値を有する資料を収集し、保存して広く利用に供するとともに、調査研究をし、その成果を市民に還元することにより将来の地域づくりにつなげる						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・地域団体の解散や家屋の解体などにより、所蔵者による保存が困難になった資料を、廃棄や散逸を防ぐために当研究所で受入れるケースが増えています。また、市役所の非現用文書から移管される歴史公文書の増加に対して、収蔵庫の確保と適正な保存管理・公開に向けた関係部署との協議・検討も必要です。
リスク及び機会(ISO)	・少子高齢化の影響もあり、地域史研究に関わる人材の育成が必要です。また、地域史に関心を持つ市民のすそ野を広げ、研究成果を市民に還元するために、学びの場を提供できるよう取り組む必要があります。

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・歴史的価値を持つ資料が散逸しないよう市民に周知し、収集、保存、目録作成や調査研究、公開により多くの方が利活用できるようにします。 ・研究成果を幅広く市民に還元するため、年報や書籍の刊行により公表し、主催する講座等により学びの場を提供します。 ・地域史に関心を持つ市民のすそ野を広げ、地域の学習を支援するため、地区公民館や次代を担う小中学生や高校生を対象とした出前講座の実施に向けて取り組みます。 ・地域の歴史研究団体等と共同調査研究や情報共有をすることにより、地域での調査研究活動の活性化につなげていきます。 ・歴史公文書の適切な保存管理・公開に向けて関係部署との協議検討を進めます。			会計年度任用職員（研究員、研究補助）				15,723			
				研究集会、年報発行				1,694			
				史料調査研究活動				2,149			
				教育普及活動				1,213			
				地域史編さん・出版				1,420			
				その他の経費		0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	刊行物、論文数		件	10							
	地域史研究集会参加者数(延べ人数)		人	180							
	地域史講座等参加者数(延べ人数)		人	200							
	飯田アカデミア参加者数(延べ人数)		人	200							
	歴研ゼミナール等参加者数		人	550							
	出前講座等参加者数		人	500							
	地域団体との共同調査研究数		件	2							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		22,199	(そ) 出版物売却代 500千円							
	国庫支出金		0	(そ) 諸収入 21千円							
	県支出金		0	(そ) ふるさと基金繰入金 1,000千円							
	地方債		0								
	その他		1,521								
	一般財源		20,678								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	8	11	1	3,843 0	歴史研究所調査研究事業費
2	1	10	5	8	11	2	1,213 0	歴史研究所教育事業費
3	1	10	5	8	11	4	1,420 0	市誌編さん事業費
4	1	10	5	8	1	3	15,723 0	会計年度任用職員人件費
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		歴史研究所管理事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		歴史研究所			開始	H15	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
		○	飯田市歴史研究所6期中期計画						
	法令・例規等		飯田市歴史研究所条例						
			飯田市歴史研究所管理運営規則						
事業目的		対象	市民、研究者等						
		意図	研究所の適正な管理運営を行い、地域遺産である史料を現在および未来の市民や研究者等に活用してもらう。						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・ 市民や地域から受入れる資料と歴史公文書の増加に対応した適正な保存管理ができるよう、収蔵庫の確保に向けた関係部署との協議・検討が必要です。 ・ 老朽化した施設を定期的に点検し、修繕をするなど適切な維持管理が必要です。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ 来所者に安心安全に利用してもらえるよう施設の管理運営を行います。 ・ 市民や地域から受入れる資料及び市役所非現用文書から移管される歴史公文書の増加に対応するため、収蔵庫の確保に向けた検討と書庫内の整備を進めます。		会計年度任用職員（レファレンス）				3,170				
			歴史研究所運営経費				1,217				
			歴史研究所施設維持経費				3,360				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	開所日数		日	250							
	施設の利用者数		人	300							
	相談・資料照会等数（単年度）		件	250							
	新たに収集した史料数		件	10							
	新たに公開した史料数		件	15							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		7,747	(そ) 雑入 55千円							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		55								
	一般財源		7,692								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	8	10	1	4,577 0	歴史研究所管理費
2	1	10	5	8	1	3	3,170 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		飯田コミュニティスクール推進事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		公民館			開始	H29	終了	R99	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市公民館基本方針						
	法令・例規等		飯田市学校運営協議会規則						
			社会教育法						
		飯田市公民館条例							
事業目的		対象	小中学校、各地区住民、各家庭						
		意図	学校、家庭、地域などで「めざすこども像」を共有し、連携協働することにより、地域全体でこどもを育む。						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・家庭環境や社会環境などが変化するなか、地域の将来を担うこども達の学びや成長を地域、学校、家庭など多様な主体が連携協力しながら支えていくことの重要性が高まっています。 ・令和7年度より「飯田学園構想」がスタートするなか、「学園の目指すこども像」の実現に向け、地域に着目した学習や交流を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域の将来を担う人材を育みます。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	1 地域、学校、家庭などの連携のもと実践する、地域や学校の特色を生かした「いいだＣＳ協働活動」（地域学校協働活動）を支援します。 ・こどもや保護者を対象に、地域の自然、歴史、文化など地域の価値や魅力に触れる学習活動を実施します。 ・小学生を対象にした長期休暇の寺子屋事業など、こども達が地域に学び多様な世代と交流する取組を、地域の多様な人材が関わりながら実施します。 ・中学校と連携し、中学生が地域や公民館の活動に主体的に関わるボランティア活動などを支援します。		親子学習交流(家庭教育)活動				1,040				
			いいだCS協働活動（地域学校協働活動）推進事業				495				
			コミュニティスクールボランティア保険				375				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	小中学校の学校運営協議会の開催回数		回	70							
	学校支援ボランティアの登録数		人	800							
	いいだCS協働活動推進事業の取組件数		件	35							
	家庭教育の開催件数		件	650							
	家庭教育に参加した延べ人数		人	11,000							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		1,910	(そ) ふるさと寄附金							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		1,900								
	一般財源		10								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	10	1,910 0	飯田コミュニティスクール推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要					課等No.	52	事業No.	259	
事務事業名		多様な学習交流支援事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		公民館			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
			2	人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる					
			3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市公民館基本方針						
	法令・例規等		社会教育法						
			飯田市公民館条例						
事業目的		対象	各地区住民、全市民						
		意図	地区の特色を生かした多様で主体的な学びを通して、地域の自治を担う人材の育成を目指す						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・地域コミュニティの基盤となる地域への誇りと愛着の醸成や、住民同士の協調的な関係を構築するためには、地域の価値や魅力に触れる学習や住民同士のつながりを大切に交流など、地域に着目した多様な学習や交流が重要で す。 ・住民が仲間とともに主体的に楽しみながら事業を企画運営する専門委員会事業など、公民館における様々な学習の場を通じて、当事者意識をもった担い手を育む必要があります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	1 「楽しそう、面白そう」を入口に、住民が集い対話する場づくり、住民同士のつながりや主体性を大切にしながら願いや関心事に応える多様な学びや交流を展開します。 ・芸術文化や伝統文化への理解を深め地域振興につなげます。 ・郷土を学ぶ学習交流を通じて、ふるさと意識を醸成します。 ・健康学習や交流を通じて、健康への関心を高めます。 ・ゼロカーボンシティの実現にむけ、環境学習や保全活動を支援します。 ・人権平和や多文化共生学習を通して、平和を尊ぶとともに、多様性への理解を深めます。 ・二十歳の集いを通じて成人が地域を学ぶ機会を創出し、地域への愛着やふるさと意識を醸成します。		多様な学習交流支援				4,101				
			芸術文化学習交流支援				885				
			郷土(地区)を学ぶ活動支援				1,086				
			健康学習交流支援				235				
			環境学習交流支援				340				
			人権平和・多文化学習交流支援				1,391				
			二十歳（はたち）の集い補助金				2,000				
			会計年度任用職員				3,083				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座等開催数		回	1,400							
	講座等延べ参加者人数		人	65,000							
	専門委員・実行委員等の人数		人	870							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		13,121	(そ) 自治体国際化協会助成金 (10/10)							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		1,083								
	一般財源		12,038								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	10,038 0	公民館事業費
2	1	10	5	4	1	3	3,083 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要					課等No.	52	事業No.	260
事務事業名		高校生等次世代育成事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		公民館			開始	H24	終了	R99
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
			3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市公民館活動基本方針					
	法令・例規等		社会教育法					
		飯田市公民館条例						
事業目的		対象	全市民（高校生～青壮年層）					
		意図	地域を知り様々な自治活動を支える人々に学ぶ取組を通して、地域への愛着と誇りを持つとともに、自身の生き方を考え主体的に行動できるようになる。					

2 事業内容											
事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)			・ 当地域は、高校卒業後に多くの若者が進学や就職等で地域を離れる状況にあり、地域の将来を担う高校生など次代を担う人材を対象にした学習交流活動の重要性が高まっています。 ・ 高校生など若者を対象に、地域づくりの実践者など多様な主体との学習交流や、自身の願いや想いを仲間との学びを通じて実現する創発活動の支援などを通じて、地域に心根を置きながら主体的に考え行動できる人材を育みます。								
リスク及び機会(ISO)											
7年度 取組	取組内容				経費の内容				事業費(千円)		
	1 地域に心根を置きながら、広い視野で自身や地域を捉え行動できる人材の育むため、以下の事業に取り組みます。 ・ 地域内外の様々な事例に学び、ふるさとへの理解を深め、自身や地域のあり方を考える「高校生講座」を実施します。 ・ 創発コーディネートマネージャ等と連携し、「ふらっと会議」や「はびらぼ」など多様な世代が集い対話する場をつくり、自身の願いや想いを仲間と共有し、協力しながら実現する創発活動を支援します。 ・ 飯田OIDE長姫高等学校の地域人教育など、高校生の探究学習において、高校生が地域に学ぶ実践的な学習を支援します。				高校生講座				5,720		
					ムトスぶらざにおける学習交流・創発活動				3,150		
					高校等における探究学習支援				260		
その他の経費								0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	高校生講座に参加した生徒数		人	20							
	高校生講座の回数		回	50							
	ムトスぶらざふらっと会議参加者数		人	200							
	ムトスぶらざでの学習交流活動参加者数		人	300							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		9,130								
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		9,130								

3 事務事業を構成する予算科目									
番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額	中事業名(科目名称)	
							現計予算額		
1	1	10	5	4	11	2	9,130 0	公民館事業費	
2									
3									
4									
5									
6									
7									

1 事業概要

事務事業名		乳幼児親子学習交流支援事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		公民館			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			こども若者まんなかプラン						
			飯田市公民館活動基本方針						
	法令・例規等		社会教育法						
			飯田市公民館条例						
事業目的		対象	3歳までのこどもとその保護者						
		意図	発達段階に応じた様々な活動の経験を通して、生きる力の基礎を獲得する。子育ての情報や知識を得たり悩みを共有するとともに、保護者同士の地域内のつながりができる。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・各地区において乳幼児が減少傾向にあり、隣接地区と合同で開催するなど、参加者の学びやつながりを広げる必要があります。 ・発達段階に応じた子育てに関する学習や親子間の交流の機会を、参加者のニーズや悩みに寄り添いながら開催し、子育て世代の仲間づくりや地域とのつながりをつくる必要があります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	1 各地区において、3歳までのこどもと保護者を対象に乳幼児学級を開催します。保護者同士が交流する機会を提供し、子育てに関する悩みの相談、情報の交換、必要な知識を学ぶ機会をつくれます。 ・保健課等と連携し、0歳から3歳まで発達段階に応じた様々な学習体験活動を実施します。 ・学級講座のなかで、地域住民の方を講師に迎えるなど、地域とつながる機会を創出します。 ・平日の参加が困難な保護者のために、ファミリーデーなど休日に学級を開催するなど、参加しやすい環境を整えます。		乳幼児学級の開催				1,256				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	学級・講座の開催回数		回	450							
	学級・講座に参加した親子の延べ人数		人	7,500							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		1,256								
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		1,256								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	1,256 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

令和7年度事務事業運営管理表(事務事業計画)予算管理

1 事業概要				課等No.	52	事業No.	262
事務事業名		公民館改修事業		会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名		公民館		開始	S29	終了	
根拠	主要区分		主	記号	計画等名称		
	戦略計画						
	分野別計画		○	飯田市教育振興基本計画			
	法令・例規等			社会教育法			
				飯田市公民館条例			
				建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令			
事業目的		対象	公民館施設及びその利用者				
		意図	施設の適正な維持管理や改修により、安全安心で快適な学習環境を提供し社会教育の振興に努める。				

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)		・老朽化が進んでいる公民館の必要な改修については、飯田市教育委員会施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点から計画的に実施する必要があります。					
リスク及び機会(ISO)							
7年度取組	取組内容			経費の内容			事業費(千円)
	・飯田市教育委員会施設等総合管理計画に基づき、老朽化した施設の改修を計画的に進めます。			施設改修工事費			75,724
				その他の経費			0
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画
	改修実施箇所数	件	3				
7年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項				
	事業費 計	75,724	(地) 公共施設等適正管理推進(充当率90%)				
	国庫支出金	0					
	県支出金	0					
	地方債	68,100					
	その他	0					
	一般財源	7,624					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	12	2	75,724 0	公民館改修事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要					課等No.	52	事業No.	257
事務事業名		公民館維持管理事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名		公民館			開始	S29	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		社会教育法					
		飯田市公民館条例						
		建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令						
事業目的		対象	公民館施設及びその利用者					
		意図	施設の適正な維持管理により、市民へ安全安心で快適な学習環境を提供して社会教育の振興に努める					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)		・施設の老朽化が進むなか利用者が安全安心な環境で活動が行えるよう、経年劣化に伴う破損や法定点検等で指摘された不良個所について迅速に対応するなど、適正な維持管理が求められています。									
リスク及び機会(ISO)											
7年度 取組	取組内容				経費の内容				事業費(千円)		
	・公民館利用者が、安全安心な環境で活動ができるよう、施設の整備や、サービスの向上に努めます。 ・施設予約システムを運用し利用者のサービス向上に努めます。 ・各公民館においてフリーW i - F i の環境を提供します。 ・設備の法定検査等を行い施設の適切な維持管理を行います。 ・小規模な修繕は迅速に対応します。				光熱水費、燃料費				51,319		
					通信運搬費				5,733		
					修繕料				7,100		
					施設設備保守委託料等				58,723		
					施設敷地借地料				10,365		
					施設設備等借上料				36,000		
					共用管理負担金				7,224		
					施設改修工事費				2,810		
					人件費				55,481		
					その他の経費				9,911		
	活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
公民館利用回数		回	33,000								
公民館利用者数		人	600,000								
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		244,666	(地) 公共施設等適正管理推進 (充当率90%)							
	国庫支出金		0	(そ) 公共物等占有料 137千円							
	県支出金		0	(そ) 飯田市公民館使用料 1,490千円							
	地方債		2,200	(そ) 地区公民館使用料 6,200千円							
	その他		8,292	(そ) 諸収入 465千円							
	一般財源		234,174								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	10	1	189,185 0	公民館管理・運営費
2	1	10	5	4	1	3	45,457 0	会計年度任用職員人件費
3	1	10	5	4	1	1	10,024 0	人件費
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		文化会館文化芸術事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		文化会館			開始	H21	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市文化芸術振興基本方針						
	法令・例規等		文化芸術振興基本法						
			音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律						
		文化芸術推進基本計画							
事業目的		対象	市民、文化芸術の普及・振興を担う人材						
		意図	文化芸術の振興を図ることによって、市民が心豊かな生活を送るための一助とする						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価) リスク及び機会(ISO)	・市民が心豊かな生活を送られるように、市民のニーズに応えながら多様な舞台芸術を鑑賞する機会を提供する必要があります。 ・舞台芸術活動への支援や団体が発表する場の提供をしていく必要があります。 ・オーケストラと友に音楽祭は、安定した財源の確保や、こどもから大人まで楽しみ学べる内容に充実する取り組みや、音楽の魅力を地域へ広報していく必要があります。
--	---

7年度 取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・市民が優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供します。 ・市民が行う舞台芸術の技術向上・創造活動を支援します。 ・オーケストラと友に音楽祭の将来ビジョン実現に向けて、事業内容の充実や持続可能な財政運営を図り、幅広い年齢層がオーケストラやクラシック音楽に触れる機会をつくります。 ・小中学校が行う舞台芸術鑑賞を支援します。 ・伊那谷文化芸術祭を飯田文化協会と共催し、市民が主体的に取り組む舞台芸術の発表・交流の場をつくります。		舞台芸術鑑賞事業		4,115
			市民舞台芸術創造支援事業		1,007
			オーケストラと友に音楽祭開催事業		11,000
			小中学生芸術鑑賞事業		764
			会計年度任用職員		4,429
			その他の経費		0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	オーケストラと友に音楽祭参加者数	人	5,200							
	伊那谷文化芸術祭参加者数(出演・鑑賞)	人	7,000							
	舞台芸術創造支援事業参加団体・学校数	団体・校	70							
	舞台芸術鑑賞事業数	事業	4							
	小中学生芸術鑑賞事業数	校	15							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		21,315	(そ) ふるさと基金繰入金						
	国庫支出金		0							
	県支出金		0							
	地方債		0							
	その他		16,886							
		一般財源	4,429							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	11	3	4,115 0	舞台芸術鑑賞事業費
2	1	10	5	7	11	5	1,007 0	市民舞台芸術創造支援事業費
3	1	10	5	7	11	7	11,000 0	オーケストラと友に音楽祭開催事業費
4	1	10	5	7	11	9	764 0	小中学生芸術鑑賞事業費
5	1	10	5	7	1	3	4,429 0	会計年度任用職員人件費
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		人形劇のまちづくり事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		文化会館			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市文化芸術振興基本方針						
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針						
	法令・例規等								
事業目的		対象	市民						
		意図	人形劇フェスタのみならず、年間を通じて人形劇を鑑賞したり、体験したり、公演の企画運営を行い、人形劇のまちとしての魅力や価値を高めます。						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・人形劇フェスタ2024は海外劇団含め281劇団が参加し、約26,500人の観劇者に公演を楽しんでもうことができました。記録的な猛暑が続く中、熱中症対策として中央公園で実施していたセントラルパークをムトスぶらぎに移すなどの対策をしました。さらに、実行委員会や関係団体と協議し、安全に安心して観劇ができる環境づくりを行います。
リスク及び機会(ISO)	・公演事業及び創造事業は概ね計画どおり実施しています。フェスタ期間以外にも人形劇に触れる機会の開催・周知を継続していきます。

7年度取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・人形劇フェスタ2025は、人形劇に携わる人がもっと楽しみになる4日間となるように支援します。		いいだ人形劇フェスタ開催事業負担金	18,300
	・人形劇公演や、演じることを楽しめる講座を、年間を通じて開催します。		「いいだ人形劇センター」活動支援負担金	11,000
	・伝統人形浄瑠璃の保存継承のため、保存会活動への支援を行うとともに、その活動を市民や国内外へ向けて情報発信します。		人形劇公演・巡回公演事業負担金	3,312
	・人形劇の友・友好都市国際協会(AVIAAMA)を通じて「人形劇の世界都市・飯田」の魅力をWebサイト等で国内外へ発信します。		人形劇講座、地域劇団、人形劇活動への支援	3,262
	・教育現場での、人形劇の観劇や人形劇制作のための講師派遣を行い、創造力の育成に取り組みます。		人形劇のまち国際化推進事業費	2,890
			伝統人形芝居保存伝承活動への支援	7,237
			「人形劇のまち飯田」運営協議会負担金	534
			人形といけ塔設備保守委託料他	1,052
			会計年度任用職員	8,014
			その他の経費	0

活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	ワッペン期間中の観劇者数	人	25,000							
	フェスタ以外の公演の観劇者数	人	7,000							
	人形劇講座開催数	回	120							
	伝統人形保存継承のための研修回数	回	19							
	国外劇団の公演数	数	15							
	学校人形劇取り組んでいる学校数	校	20							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		55,601	(地) 脱炭素化推進事業債(充当率90%)	
	国庫支出金		0	(そ) ふるさと基金繰入金 23,176千円	
	県支出金		0	(そ) ふるさと寄附金 3,200千円	
	地方債		3,200		
	その他		26,376		
一般財源			26,025		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	1	12,586 0	人形劇のまちづくり推進事業費
2	1	10	5	7	13	4	18,300 0	いいだ人形劇フェスタ開催事業費
3	1	10	5	7	13	10	3,312 0	人形劇公演事業費
4	1	10	5	7	13	11	3,262 0	人形劇創造支援事業費
5	1	10	5	7	13	12	2,890 0	人形劇のまち国際化推進事業費
6	1	10	5	7	13	14	7,237 0	伝統人形芝居振興事業費
7	1	10	5	7	1	3	8,014 0	会計年度任用職員人件費

1 事業概要

事務事業名		文化会館等管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名		文化会館			開始	S47	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		飯田文化会館条例					
事業目的		対象	市民					
		意図	新しい文化会館の開館まで、既存の施設・設備を安全、安心、快適な環境で利用できるようにする。					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	飯田文化会館は築50年を経過し、施設・設備の老朽化、陳腐化、耐震性、バリアフリーやアメニティの課題を抱えています。市民に安心して使用していただけるよう、新文化会館の改築まで計画的に、施設・設備の更新や修繕を実施していきます。また、施設使用者の利便性を高められるよう、公共施設予約システムの普及に取り組みます。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・飯田文化会館を安全、安心、快適に使用できるよう、日常的に維持管理、点検を実施します。 ・老朽化した施設・設備の更新や修繕を適時適切に実施します。 ・飯田文化会館、人形劇場、鼎文化センターの3つのホールを円滑に利用できるよう舞台技術者に管理運営を委託します。		文化会館管理費	46,864
			ホール業務等委託費	26,814
			施設・設備修繕費	0
			緊急修理・小修繕	2,500
			高圧電気設備改修工事	8,150
			ホール舞台吊物設備改修工事	1,205
			人形劇場舞台照明設備改修工事	3,432
			会館棟照明LED化改修工事	4,400
			会計年度任用職員	7,100
			その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	老朽化改善に係る更新及び修繕	箇所	5							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		100,465	(地) 公共施設等適正管理推進(充当率90%) 11,300千円	
	国庫支出金		0	(地) 脱炭素化推進(充当率90%) 3,900千円	
	県支出金		0	(そ) 公共物占用料 118千円	
	地方債		15,200	(そ) 文化会館使用料 17,200千円	
	その他		18,661	(そ) 諸収入 1,343千円	
	一般財源		66,604		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	10	1	46,864 0	文化会館管理費
2	1	10	5	7	10	2	26,814 0	ホール業務等委託事業費
3	1	10	5	7	10	3	19,687 0	文化会館施設整備事業費
4	1	10	5	7	1	3	7,100 0	会計年度任用職員人件費
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		竹田人形館管理運営事業		会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名		文化会館		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画				
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針				
	法令・例規等		竹田扇之助記念国際糸操り人形館設置条例				
事業目的		対象	市民				
		意図	1 人形美術の素晴らしさを鑑賞できるようにする。2 人形劇のまちへの理解を深める。3 竹田人形の糸操り人形技術の継承。				

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・春や秋の行楽シーズン、市内の小学校や公民館の活動、県外の研修旅行等で来館者数が延びてきています。 ・当館の特徴や魅力を知ってもらう機会として、人形作りワークショップの開催や、ブログの定期的更新に努めています。 ・今後も新たな来館者やリピーターを増やす取り組みを行う必要があります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・地元地域や竹田人形座竹の子会との連携による事業（麻績の里桜祭りや初春を寿ぐ竹田人形館の開催）を活用し、多くの市民に竹田人形館を知ってもらう取り組みを行います。 ・いいだ人形劇フェスタと連携し、公演等を開催します。 ・一度も訪れたことのない市民や近隣町村、県外の方々にも人形館を知ってもらえるような効果的な営業活動を進めていきます。 ・人形の展示の鑑賞だけでなく糸操り人形の実演による来館者の満足度の向上にも引き続き努めて行きます。			人形館維持管理費用				10,307			
				企画展、展示替えに関する費用				220			
				会計年度任用職員				6,654			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	竹田人形館の年間入館者数		人	2,700							
	営業活動数		回	5							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		17,181	(地) 脱炭素化推進事業債(充当率90%)							
	国庫支出金		0	(そ) 竹田人形館観覧料 880千円							
	県支出金		0	(そ) 諸収入 25千円							
	地方債		4,000								
	その他		905								
	一般財源		12,276								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	2	10,527 0	竹田人形館管理費
2	1	10	5	7	1	3	6,654 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		川本人形美術館管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名		文化会館			開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針					
	法令・例規等		飯田市地域人形劇センター条例					
事業目的		対象	市民					
		意図	1 人形美術の素晴らしさを鑑賞できるようにする。2 人形劇のまちへの理解を深める。3 施設を活用した多彩な活動を実施してもらう。					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・回復傾向が見られる来館者のさらなる増加に向けて、地元地域や関係機関と連携し幅広い層の方に来館していただけるような取り組みが必要です。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・川本喜八郎生誕100年をアピールする企画を連続的に行います。 ・渋谷区と連携した、人形の交流（三国志と平家物語）による多様なターゲット層へのアプローチを行っていきます。 ・地元地域と連携し、丘の上の回遊に向けた取組を行います。 ・季刊誌やWebサイト、SNSを活用した情報を積極的に発信します。 ・観光公社や市内公共文化施設等と連携し継続的に営業活動を行います。			施設管理業務委託料				23,410			
				共用部管理負担金				9,775			
				修繕費ほか				402			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	川本喜八郎人形美術館の年間入館者数		人	15,000							
	企画展、展示替え、ワークショップ [※] の開催数		回	10							
	営業活動数		回	15							
	情報誌発行部数		数	28,000							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		33,587								
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		0								
	一般財源		33,587								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	9	33,587 0	地域人形劇センター管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		文化施設整備事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		新文化会館整備室			開始	R4	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
	法令・例規等								
事業目的		対象	市民						
		意図	飯田市の文化芸術活動の拠点施設としての新文化会館の建て替えに向けた検討を進めます。						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	新文化会館の建設に向けて、市民参加により策定した基本構想を具現化するために、建設候補地の選定を行うとともに基本計画づくりを進めます。また、検討状況をさまざまな手段で市民の皆さんへお伝えします。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・新文化会館の整備に向け、市民参加により策定した基本構想を具現化するために、建設候補地の選定を行うとともに基本計画づくりを引き続き進めます。 ・専門家の意見をお聞きするため専門家会議を開催します。 ・基本構想を検討していただいた整備検討委員の意見をお聞きするため整備検討委員会を開催します。 ・市民の声を計画に反映させるため市民や利用団体との意見交換会を開催します。 ・検討状況を様々な手段で市民の皆さんへ伝えます。		基本計画策定費等	8,947
			その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	ワークショップ	回	4							
	検討会議(検討委員会、専門委員会等)	回	6							
	ニュースレターの発行	回	5							

7年度 予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計	8,947	(そ) 地域振興基金繰入金	
	国庫支出金	0		
	県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	8,947		
	一般財源	0		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	14	1	8,947 0	文化施設整備事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		図書館事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		中央図書館			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市立図書館サービス計画						
	法令・例規等		図書館法						
			飯田市立図書館条例						
事業目的		対象	市民						
		意図	読書活動を通じて、地域の学びが深まり交流が広がる						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・郷土資料を使って学ぶ人の減少や、高齢化などによる市民運営の読書交流活動減少が課題になっています。読書や学びへの意欲や関心が広がるよう、市民の皆さんと協働して、共に学びあい交流する場をつくることが大切です。 ・一人ひとりが主体的に学び、地域の価値や魅力を知り次世代へ繋げていくために、郷土ゆかりの資料（郷土資料）を活用した学びの機会を提供することが求められます。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・市民の皆さんと協働し、中央図書館開館110周年記念事業としてシンポジウムや図書館の歩み展示、ミニ企画を集めた図書館マルシェなどを行います。 ・文学講座や読書会の開催などにより、市民の皆さんの読書活動と読書を通じた交流活動を支援します。 ・研究団体と協働して講座を開催し、郷土を学ぶ機会をつくります。 ・文章講座を開催し書くことによる学習を推進します。 ・市民の皆さんと協働して、目の不自由な方のための録音図書製作や、資料整理、環境整備などの取組を行います。 ・分館では、地区の方や関係機関と連携して、読書や交流が広がるための企画を実施します。		中央図書館開館110周年記念シンポジウム講師謝礼	75
			中央図書館開館110周年記念事業印刷業務委託	997
			中央図書館開館110周年記念事業消耗品費	290
			中央図書館110周年記念動画作成謝礼	30
			文章講座講師謝礼	120
			録音図書製作研修講師謝礼	180
			文学講座講師謝礼	20
			点訳資料作成謝礼	14
			ボランティア・イベント参加者保険料	28
			その他の経費	103

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座・企画等開催数	件	31							
	講座・企画等参加延べ人数	人	1,200							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項 (県)元気づくり支援金(3/4) (そ)諸収入	
	事業費 計		1,857		
	国庫支出金		0		
	県支出金		1,098		
	地方債		0		
	その他		120		
	一般財源		639		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	11	1	1,857 0	図書館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		図書購入・提供事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		中央図書館			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
		○	飯田市立図書館サービス計画						
	法令・例規等		図書館法						
			飯田市立図書館条例						
			公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準						
事業目的		対象	市民						
		意図	読みたい図書や知りたい情報を得て主体的に学び、心豊かな暮らしができる						

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	コロナ禍により減少した図書館利用は回復してきていますが、より多くの市民の方が図書館を利用し、読書や学びを行うことができるよう、図書館利用の推進や読書推進の取組が必要です。 ・利用しやすい場所になるための取組や、市民の皆さんの興味・関心を広げる情報発信が求められます。 ・求める図書や情報を的確に得るために、情報探索支援や調べもの支援（レファレンス）の強化が必要です。 ・郷土資料の活用促進や利用の利便性向上が求められます。
リスク及び機会(ISO)	

7年度取組	取組内容		経費の内容		事業費(千円)
	・市内各図書館で役割分担して多様な図書を収集・提供します ・市民の皆さんが新たな本に出会い、興味・関心が広がる機会をつくります。 ・司書の調べもの支援（レファレンス）事例の紹介や、利用者の方が支援を受けやすい環境づくりに取り組みます。 ・分館を含めた全図書館で、気軽に来館していただくための機会づくりに取り組みます。 ・郷土資料を収集・提供し、郷土学習を支援します。 ・郷土新聞のデジタル化を行います。 ・読むことが不自由な方へ録音図書や大活字本等を提供します。		一般(大人)向け図書購入費		24,154
			郷土資料デジタル化業務		1,595
			情報探索データベース使用料		1,291
			コンピュータシステム保守点検業務委託料		4,092
			コンピュータシステム機器使用料		8,079
			図書搬送業務委託料		1,909
			書誌データ作成業務委託料		1,881
			書誌データ利用料		858
			製本業務委託料		674
			その他の経費		1,373

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	購入冊数	冊	21,000							
	貸出利用者数	人	190,000							
	レファレンス件数	件	2,600							
	郷土資料の貸出冊数	件	6,000							
	地区住民1人あたりの分館貸出冊数	冊	1.6							

7年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		45,906	(そ) コンピュータシステム運営事業負担金 1,934千円	
	国庫支出金		0	(そ) 図書館ネットワーク館搬送業務負担金 515千円	
	県支出金		0	(そ) 諸収入 36千円	
	地方債		0		
	その他		2,485		
	一般財源		43,421		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	10	1	6,537 0	図書館管理・運営費
2	1	10	5	5	10	2	23,712 0	図書購入費
3	1	10	5	5	10	3	12,171 0	コンピュータシステム運営事業費
4	1	10	5	5	11	1	2,982 0	図書館事業費
5	1	10	5	5	11	2	504 0	ビジネス支援サービス事業費
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		こども読書活動推進事業		会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		中央図書館		開始	R2	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市立図書館サービス計画					
	法令・例規等		図書館法					
			飯田市立図書館条例					
			子どもの読書活動推進に関する法律					
事業目的		対象	乳幼児・児童・生徒					
		意図	読書の機会が増え、楽しさを知り、読書習慣が形成される					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)		・乳幼児期の読んでもらう読書から小学生期の文字だけの本を自分で読む読書への移行や、学年が上がるにつれ読書や図書館利用から遠ざかる傾向があることが課題となっています。読書を楽しむ体験を充実させ、読む意欲を育むことが必要です。 ・関係機関と連携し、こどもの発達に沿って継続的に取り組むことがことが求められます。									
リスク及び機会(ISO)											
7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・7か月児と4歳児（年中児）への絵本プレゼントや、分館や保育所を通じた貸出により、各家庭に絵本が届く取組を進めます。 ・小中学生の自発的な読書や読書環境の整備に向けて、学校図書館との連携・協力を進めます。学年別図書リストの活用やこども向けの企画など、読書意欲を高めるための取組を実施します。 ・飯田駅前図書館を中心に、高校生が本や図書館に親しみきっかけとなるような機会を作ります。 ・親子で気兼ねなく図書館を使えるように呼びかけを行います。 ・こどもに関わる人が、読書について学ぶ講座を開催します。 ・さまざまな立場の市民や関係機関が、連携・協力してこどもへの読書推進ができるような体制づくりに向けて取り組みます。			児童向け図書購入費				8,584			
				はじめまして絵本・おともだち絵本				1,660			
				読書啓発講座講師謝礼・旅費				190			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	はじめまして絵本を受け取った率		%	100							
	おともだち絵本を受け取った率		%	100							
	絵本を家庭へ持ち帰っている保育所数		園	32							
	小中学生対象の読書推進企画		件	7							
	高校生対象の読書推進企画		件	5							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		10,434	(そ) ふるさと寄附金							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		1,600								
	一般財源		8,834								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	10	2	8,584 0	図書購入費
2	1	10	5	5	10	5	1,660 0	はじめまして絵本事業費
3	1	10	5	5	11	1	190 0	図書館事業費
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		図書館管理運営事業			会計	一般会計			
					事業区分	経常	実施区分	継続	
担当課等名		中央図書館			開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市立図書館サービス計画						
		○	飯田市教育委員会施設等総合管理計画						
	法令・例規等		図書館法						
			飯田市立図書館条例						
		公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準							
事業目的		対象	図書館利用者						
		意図	図書館を安全かつ快適に利用できる						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・安全で安心して利用できる施設の管理運営が必要です。 ・施設設備の経年劣化等による破損、故障が増えており、継続的な保守点検と計画的な修繕を施す必要があります。 ・令和8年度を始期とする飯田市教育委員会施設等総合管理計画の後期計画に、計画的な改修や修繕予定を反映させる必要があります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・図書館を安全で快適に利用できるよう、施設管理及び保守整備を行います。 ・ゼロカーボンへの取組として、上郷図書館照明LED化工事をを行います。 ・施設設備の安全性確保のため、上郷図書館受変電設備の機器更新工事、中央図書館消火栓ポンプ用直流電源装置内蓄電池更新を行います。 ・図書館施設劣化状況調査結果に基づき、計画的な改修や修繕内容を飯田市教育委員会施設等総合管理計画の後期計画に反映させます。		上郷図書館照明LED化工事	16,500
			上郷図書館受変電設備機器更新工事	2,200
			中央図書館直流電源装置蓄電池更新工事	2,035
			施設設備点検委託料	831
			施設設備管理修繕	700
			施設設備管理・保守委託料	9,533
			図書館管理消耗品	2,348
			事務用機器借上料	304
			会計年度任用職員人件費	78,768
			その他の経費	16,531

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	施設設備修繕件数	件	15							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		129,750		
	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		18,500		
	その他		826		
	一般財源		110,424		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	10	1	50,982 0	図書館管理・運営費
2	1	10	5	5	1	3	78,768 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		美術博物館資料調査研究・収集保管事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		美術博物館			開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		博物館法					
			飯田市美術博物館条例					
事業目的		対象	伊那谷の自然、人文、美術に関する事象や資料					
		意図	調査、研究、整理し、市民に還元する					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・地域に根ざした博物館活動を行うために、事象や資料を地域資源化する継続的な調査研究が必要です。 ・調査研究の成果を市民が利活用できるようにするために、資料を整理しデータベース化を進める必要があります。 ・貴重な資料や地域ゆかりの作品が散逸しないための対応および、緊急の収蔵場所の確保が必要です。 ・若手の調査研究スキルを磨くため、学会参加や論文執筆など積極的に行える体制を整えていく必要があります。 ・資料の保存環境をモニタリングし、改善を図ります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・地域の自然、文化、美術を対象とした調査研究を関係する団体や研究者などと連携して継続的に行います。 ・調査研究成果を展示や講座等の学びの機会につなげると共に学会発表や研究紀要・自然史論集などで公表します。 ・田中芳男関連資料を活用できるよう整理、修復を進めます。 ・長谷川コレクションの利活用を進めます。 ・資料等の整理登録作業を継続し、展示公開やデジタル情報を活用した閲覧の環境を整えていきます。 ・地域の資料を良好な状態で保存するための環境を整えます。 ・収蔵場所不足解消に向けた検討を進めます。		自然調査研究費	1,899
			人文調査研究費	833
			美術調査研究費	2,408
			図書整理公開費	35
			研究紀要	660
			共通調査研究費	91
			会計年度任用職員	12,432
			その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	研究発表数	件	50							
	美術資料作品登録点数	点	20							
	資料修復点数	点	3							
	人文資料登録点数	点	50							
	自然資料登録点数	点	100							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		18,358	(そ) 諸収入						
	国庫支出金		0							
	県支出金		0							
	地方債		0							
	その他		1,150							
	一般財源		17,208							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	27	5,926 0	美術博物館資料調査研究・収集保管事業費
2	1	10	5	6	1	3	12,432 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要					課等No.	55	事業No.	269	
事務事業名		美術博物館展示公開事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		美術博物館			開始	H1	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン						
	法令・例規等		博物館法						
			飯田市美術博物館条例						
事業目的		対象	来館者						
		意図	「伊那谷の自然と文化」への理解を深め、その魅力を発信する						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・「伊那谷の自然と文化」への理解と魅力を発信するため、地域の自然の特性や文化の多様性、菱田春草や田中芳男などの郷土の先人の業績を紹介し、地域への愛着や誇りを育む企画が必要です。 ・時節を捉えたテーマを特別展・企画展・トピック展示等で開催し、市民の関心を高める必要があります。 ・来館者の知性や感性を刺激し、学びにつながる展示が求められています。 ・市民の創造を支援し、地域の創造力を高める展覧会が必要です。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	1 調査研究の成果を展示公開し、「伊那谷の自然と文化」の魅力を発信し学びにつなげます。 (1) 美術分野では、企画展「写真家60周年記念展 水谷章人の世界」と「第25回現代の創造展」を開催し、現代作家による企画展「IIDAセクション展」を準備します。また菱田春草常設展7本、複製画と鑑賞学習展1本、美術コレクション展4本を開催します。 (2) 人文分野では、特別展「山とともに生きるー遠山郷の歩みとくらしー」。自然分野では、企画展「高山植物と高山昆虫からたどる 南アルプス博物学の120年」を開催します。また人文分野で4本、自然分野で3本のトピック展示を開催します。			自然常設・トピック展示				213			
				文化常設・トピック展示				518			
				美術常設・企画展示				9,568			
				柳田國男館・日夏耿之介記念館展示				150			
				次年度展覧会準備				408			
				全分野共通				182			
				【戦略重点】南アルプス博物学展				1,708			
				【戦略重点】遠山郷特別展				6,402			
その他の経費				0							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	観覧者数		人	37,000							
	展覧会開催数		回	23							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		19,149	(そ) 地域振興基金繰入金 18,149千円 (そ) 諸収入 1,000千円							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		19,149								
	一般財源		0								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	28	19,149 0	美術博物館展示公開事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		美術博物館教育普及・活動支援事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名		美術博物館			開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		博物館法					
		飯田市美術博物館条例						
事業目的		対象	市民及び下伊那郡住民					
		意図	「伊那谷の自然と文化」の特性と魅力を美術博物館を活用して学び合う					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・市民が新たな発見や学びの楽しさを気軽に体験できる場の提供と市民や地域等の関心に応える多様な学びを支援する事業が求められています ・小・中学校、高校や地区公民館等地域の団体や施設と連携した「学び」への取組が必要です。 ・地域の「学び」を支える次代の人材育成や活動団体の活性化支援に取り組んでいく必要があります。 ・出前授業に対応できる教材を充実させる必要があります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・多様な学習活動を通して、当館や市民の調査研究の成果を発信し、地域の自然と文化を守り、活用する人材を生み出します。 ・南アルプスエコ・ジオパークや身の周りの自然や地域の歴史をテーマに、講座やワークショップなどを開催します。 ・菱田春草や田中芳男など展示事業と関連した講座等を開催し、地域の文化や歴史への興味を広め、理解を深めます。 ・美術学校、写真賞など子ども達の創造の可能性を高めるワークショップやイベント、総合学習など小・中学校、高校と連携した出前授業などを行います。 ・地域の学びを支える研究団体等との事業の開催や活動支援によりボランティアガイド養成など次代の人材育成につなげます。		自然分野教育普及	236
			人文分野教育普及	641
			美術分野教育普及	976
			総合教育普及	859
			研究費助成	450
			施設改修工事	220
			会計年度任用職員	3,926
			その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座・ワークショップ等参加者数	人	5,500							
	小中学校と連携した学習の機会	回	50							
	地域と連携した学習の機会	回	60							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計		7,308		
	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		0		
	その他		810		
	一般財源		6,498		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	29	3,382 0	美術博物館教育普及・活動事業費
2	1	10	5	6	1	3	3,926 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

1 事業概要

事務事業名		美術博物館プラネタリウム運営事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
担当課等名		美術博物館			開始	H1	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン						
	法令・例規等		博物館法						
			飯田市美術博物館条例						
事業目的		対象	市民、来館者						
		意図	ふるさとの自然や文化、星空の持つ魅力に気づき、地域を大切にする心を育むとともに、地球を見つめ宇宙を夢見る広い視点と豊かな発想力を養う						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・プラネタリウムの投影を通して天文の魅力や地球環境の尊さを発信していく必要があります。 ・プラネタリウム番組や観望会により、こども達の星空や宇宙への関心を高める取組を継続する必要があります。 ・投影機器の老朽化による不具合が生じており、安定した投影を継続するために機器の更新を行う必要があります。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・天文・宇宙に関する番組や星空解説による投影を行います。（一般投影、予約投影、特別投影） ・学校での天文の学びや未就学児童の星空との出会いのための学習投影を行います。 ・地域や学校、民間の活動団体との連携による出前授業、観望会などを行い、天文の魅力を伝え、宇宙への関心を持つ機会にしていきます。 ・プラネタリウムに親しんでもらう機会としてプラネタリウムまつり等を開催します。 ・プラネタリウムの機器更新に向けての情報収集を継続します。		番組投影				5,381				
			天文普及				40				
			研修旅費				140				
			事務消耗品費				200				
			機器保守・修繕				700				
			会計年度任用職員				8,763				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	プラネタリウム観覧者数		人	11,000							
	プラネタリウム投影回数		回	500							
	ドームイベント回数		回	5							
	宇宙・天文教育回数（観望会・館外活動）		回	10							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		15,224	(そ) 美術博物館観覧料 1,100千円 (そ) ふるさと寄附金 5,300千円							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		0								
	その他		6,400								
	一般財源		8,824								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	30	6,461 0	美術博物館プラネタリウム運営事業費
2	1	10	5	6	1	3	8,763 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		美術博物館管理事業			会計	一般会計			
					事業区分	経常	実施区分	継続	
担当課等名		美術博物館			開始	H1	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン						
			飯田市教育委員会施設等総合管理計画						
	法令・例規等		博物館法						
			飯田市美術博物館条例						
事業目的		対象	美術博物館の施設（建物・設備・備品）、収蔵品						
		意図	適切な管理運営により、来館者の安全・安全を確保し学びの場を提供する。						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・来館者が安全安心で快適に利用できる施設の管理運営が必要です。 ・建物や設備の経年劣化には計画的な改修を行い、小規模な修繕が必要な箇所は、その都度適切な対応をしていきます。 ・登録博物館としての必要な設備を維持する必要があります。 ・2027年蛍光ランプの製造・輸出入の廃止に備え、LED照明への段階的な更新を行います。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	1 来館者が安全で安心して快適に施設を利用できる管理運営を行います。		委員等報酬・旅費	1,541
	(1) 建物や機械設備の適正管理を行うとともに、教育委員会施設等総合管理計画に基づき、博物館としての機能を維持し、長寿命化するために空調設備等の改修や照明機器LED化を実施します。		施設・設備等修繕	5,165
	2 博物館活動に関連する組織に加盟し、研修や情報収集などを行います。		施設管理等委託	28,539
	3 小中学生、高校生の展示観覧料金減免(無料化)を継続します。		施設改修工事	9,623
	4 第二次施設等総合管理計画(2026ー2035)の準備をします。		施設維持管理費(光熱水費・通信運搬費・保険料他)	30,644
			施設運営費(パンフレット等印刷・事務消耗品・事業用借上他)	4,737
			協議会負担金	132
			会計年度任用職員	28,290
			その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度 計画	令和7年度 実績	令和8年度 計画	令和8年度 実績	令和9年度 計画	令和9年度 実績	令和10年度 計画	令和10年度 実績
	修繕・工事等を行った建物・設備の件数	件	25							
	施設管理に対する要望件数	件	0							

7年度 予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項	
	事業費 計	108,671	(地) 公共施設等適正管理推進事業債(充当率90%)	7,900千円
	国庫支出金	0	(地) 脱炭素化推進事業債(充当率90%)	600千円
	県支出金	0	(そ) 美術博物館観覧料	4,133千円
	地方債	8,500	(そ) 諸収入	560千円
	その他	4,693		
	一般財源	95,478		

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	10	1	80,381 0	美術博物館管理費
2	1	10	5	6	1	3	28,290 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要					課等No.	55	事業No.	272
事務事業名		上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名		美術博物館			開始	H9	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
法令・例規等		地方自治法						
		飯田市上村山村文化資源保存伝習施設条例						
事業目的		対象	上村山村文化資源保存伝習施設（まつり伝承館天伯、ねぎや）					
		意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示、保存、情報発信、及び多目的利用による地域の活性化					

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)		・地域と連携して施設を観光事業などの多目的な利活用により地域の活性化に繋げる取組が必要です。 ・施設の在り方を検討する必要があります。 ・展示内容、機器の更新について可能な部分から実施していく必要があります。 ・施設の老朽化に対して、利用者の安全を確保するため修繕をする必要があります。 ・2027年蛍光ランプの製造・輸出入の廃止に備え、LED照明への更新を行います。									
リスク及び機会(ISO)											
7年度 取組	取組内容				経費の内容				事業費(千円)		
	・指定管理者との協働により、まつり伝承館「天伯」及び隣接する山村ふるさと保存館「ねぎや」の管理運営を行います。 ・展示内容や機器の更新を検討し、霜月祭をはじめとした遠山地域の山村文化の魅力を紹介します。 ・美術博物館で開催したトピック展示等の巡回を行います。 ・霜月祭の伝承、後継者育成に地域や保存会などと連携して施設の利活用について検討します。 ・施設のあり方と指定管理者制度更新についての検討をします。 ・照明機器LED化を実施します。				保険料（建物共済）				30		
					指定管理業務委託料				3,255		
					施設警備				198		
					施設改修工事				7,623		
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	観覧者数		人	1,000							
	施設を活用した事業数		回	4							
7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項							
	事業費 計		11,106	(地) 脱炭素化推進事業債（充当率90％） 6,800千円							
	国庫支出金		0								
	県支出金		0								
	地方債		6,800								
	その他		0								
	一般財源		4,306								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	13	1	11,106 0	上村山村文化資源保存伝習施設費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

令和7年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

事務事業名		南信濃民芸等関係施設管理運営事業			会計	一般会計			
					事業区分	経常	実施区分	継続	
担当課等名		美術博物館			開始	H2	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン						
	法令・例規等		地方自治法						
		飯田市南信濃民芸等関係施設条例							
事業目的		対象	南信濃民芸等関係施設（遠山郷土館）						
		意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示、保存、情報発信、及び多目的利用による地域活性化						

2 事業内容

事務事業を進める 上での課題認識 (前年度評価)	・ 遠山郷をテーマとした学習講演会の開催や美術博物館の展示事業と連動した展示内容の更新について、地域の団体との連携を進めて地域が主体となった事業運営の仕組みづくりに取り組む必要があります。 ・ 施設の老朽化に対して、利用者の安全を確保するため修繕をする必要があります。 ・ 施設の在り方を検討していく必要があります。 ・ 2027年の蛍光ランプ製造・輸出入の廃止に備え、LED照明への更新を行います。
リスク及び機会(ISO)	

7年度 取組	取組内容		経費の内容	事業費(千円)
	・ 遠山郷の歴史と、その中で育まれた霜月祭、文化財、地域ゆかりの作家の作品などの展示により地域の魅力を紹介発信します。 ・ 遠山郷をテーマとした学習講演会(講演会・見学会)を4回、自然、人文分野の研究成果を基にしたトピック展示を年間で4回開催します。 ・ 公民館や地域団体等と連携して、施設の多目的な利活用を目指します。 ・ 施設のあり方と指定管理管理制度更新の検証をします。 ・ 照明機器LED化を実施します。		保険料(建物共済)	32
			施設管理運営業務	1,210
			施設設備保守等委託	409
			借地料	436
			施設改修工事	10,395
			会計年度任用職員	3,089
			その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	観覧者数	人	1,400							
	施設利用者数	人	2,400							
	施設を活用した事業数	回	8							

7年度 予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項						
	事業費 計		15,571	(地) 脱炭素化推進事業債(充当率90%)						
	国庫支出金		0	(そ) 南信濃民芸等関係施設観覧料 327千円						
	県支出金		0	(そ) 南信濃民芸等関係施設使用料 1千円						
	地方債		9,300							
	その他		328							
	一般財源		5,943							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	14	1	12,482 0	南信濃民芸等関係施設費
2	1	10	5	6	1	3	3,089 0	会計年度任用職員人件費
3								
4								
5								
6								
7								